

<講座報告>

E **愛着に課題のある子どもの理解と支援 和歌山信愛女子短期大学 西原 弘先生**

- ① 愛着は人間形成にとって大切なものである。
- ② 養育と基本的信頼関係があつてこそ人は、人との適切な人間関係を築け、自己肯定感も得られる。
- ③ その適切な愛着関係を得られずにきた愛着障がいの子どもたちは、コミュニケーション能力の弱さがある事と初期の段階では「試し行動」があるという事を理解し、その子どもたちと信頼関係を築きながら、彼らの自己肯定感を高めるためにどうすればよいのか以上の内容について、支援の仕方を具体的に教えていただきました。

- ① 行動の背景やどうすればよいのかを考えていくABC分析の考え方
- ② 時間や経験を一緒に共有する中で関係を構築していく事
- ③ 「ありがとう」と言われて達成感を感じる場面を作っていく事
- ④ 傾聴する事
- ⑤ 感情を受け止めてそれを言葉にして返す事
など、ADHD等の発達障がいの子どもたちの支援とも共通する事が多々あることが、先生のお話の中でよくわかりました。



「親だけでなく、学校で携わる教師も養育者である」という言葉は非常に重く感じました。個人攻撃の罠に陥らずに、子どもたちと誠実に向き合い支援をしていく勇気をいただきました。